

カナダに渡った日本人の「活躍」と「正義」

Key words

和歌山、スティーブストン、サケ漁、バンクーバー・朝日軍

1 活用する主な展示および資料

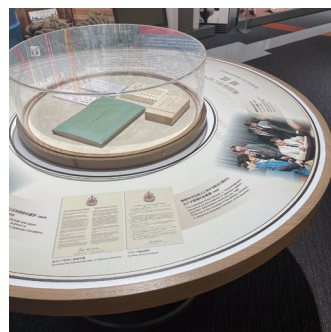
- 展示「サケ漁」
- 展示「バンクーバー・朝日軍」
- 展示資料「戦時中の日系人に対する処分に関するカナダ首相の合意書」など



(提供：テッド・Y・フルモト)

2 教科・領域との関連性および総時間数

- 中学校社会科（歴史的分野）
- 高等学校地理歴史科（歴史総合）
- 総合的な学習（探究）の時間
- 全5時間程度（事前1時間、見学2時間、事後1～2時間）



3 目標

- 日本人が海を渡りカナダに移住した史実、彼らとその子孫がカナダにおいてどのような歴史的経験をし、現在に至るまでどのような独自の文化や価値観を形成してきたのか理解することができる。【知識・技能】
- カナダに渡った日本人の歴史的経験からカナダ日本人移民・日系人の活躍と、戦争中の権利の侵害に対し市民権を回復したカナダ日本人移民・日系人の正義について考察し、表現している。【思考・判断・表現】
- 和歌山県をはじめ日本各地からカナダへ渡った日本人について、カナダ日本人移民・日系人に関連する諸展示資料から主体的に史実をつかもうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

4 単元について（教材観・単元設定の理由・資料館活用の視点など）

近年では、カナダのバンクーバーで活動していた日系二世を中心とした野球チーム「バンクーバー朝日」が小説・映画化・漫画化されている。カナダの日本人移民・日系人の歴史的体験は、生徒が「移民」について学ぶ上で有益である。本単元は、中学校社会科（歴史的分野）および高等学校地理歴史科（歴史総合）における近現代史の学習、または、総合的な学習（探究）の時間における「日本人移民」や「多文化共生」をテーマとした学びを想定し設定した。本単元ではカナダを取り上げカナダに渡った日本人の史実や歴史的経験から、生徒たちが「活躍」と「正義」の視点から学びを深める活動案を提示する。1877年に長崎県出身の永野万蔵がイギリス船でブリティッシュ・コロンビアへ上陸し、カナダ日系社会では永野に敬意を表して1877年をカナダの日本人移民の始まりとしている。その後、永野の上陸を契機に20世紀初頭にかけて多くの人々が移住している。ただしカナダへの移住は国が支援した渡航ではなかった。また、三尾村（現和歌山県日高郡美浜町三尾）出身の工野儀兵衛は「カナダ移民の父」として著名であり、工野の働きかけで多くの和歌山県民がカナダへ移住した。日本人移民の多くは、漁業や製材業、炭鉱業などに従事した。第二次世界大戦が始まると、多くの日本人・日系人が収容所での生活を余儀なくされた。戦後は、戦争中の権利侵害に対する歴史的不正義を正す運動により、カナダ政府に過去の不正を認めさせ「リドレス合意」を取りつけた。カナダ日本人移民・日系人が乗り越えた苦悩や苦勞から、彼らの「活躍」と「正義」について考える手掛かりとしたい。

5 展開計画

*事前学習～事後学習を進めるにあたり、ワークシート(資料1)のご活用をお勧めします。

流れ	主な学習活動と子ども(学習者)の意識	留意点
事前学習	<p>【“すてぶすとん”(スティーブストン)と和歌山の人々】</p> <p>1. バス停標識「アメリカ村」から多くの和歌山県出身者がカナダへ移住した事実を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アメリカと三尾村につながりがある。 ●三尾村からカナダへ移住したことを初めて知った。 <p>2. カナダでの日本人移民の生活についてつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●和歌山県民の多くがサケ漁師として働いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●バス停「アメリカ村」の写真(資料2)を提示する。 ●『工野儀兵衛ものがたり』の読み聞かせを行う。 ●「カナダと和歌山移民」(資料3)から、カナダでの日本人移民の生活について考察させる。
資料館見学	<p>【カナダ日本人移民の活躍と正義】</p> <p>1. 日本人移民がサケ漁や缶詰工場で働き、故郷へ送金していたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本人は勤勉でサケ漁や缶詰工場で働き、日本へ送金していた。 ●日本人は過酷な環境下で働き資産を築いた。 ●工野儀兵衛は故郷である三尾村に大きく貢献した。 <p>2. バンクーバー朝日軍が日本人移民・日系人に与えた勇気について推察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝日軍の活躍は人種差別や日本人排斥運動に苦しむ日本人移民に勇気を与えた。 ●彼らの活躍が日系社会に熱狂をもたらした。 ●バンクーバー朝日軍の活躍は、人種の壁を超えて称賛された。 <p>3. 戦争中の権利の侵害に対し、カナダ日本人移民・日系人はどのように正義を勝ち得たのか考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●強制収容・財産没収に対して訴訟を起こして闘った。 ●カナダの市民権を回復した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●展示「サケ漁」など、カナダ移民に関する展示の鑑賞および「故郷への送金」(資料4)から、当時の人々の生活や苦悩を捉えられるようにする。 ●和歌山県出身者の日本人移民の俗言(資料5)から、彼らがサケ漁に就いた背景を考えさせる。 ●展示「バンクーバー・朝日軍」を鑑賞し、朝日軍が人々に与えた勇気と活躍を看取させる。 ●展示資料「カナダ首相の合意書」の鑑賞および『海外移住資料館だより』No.40から、強制収容と財産の没収、補償のための闘いなどについて考察させる。
事後学習	<p>【カナダ日本人移民・日系人がつないだ未来】</p> <p>1. カナダへ渡った日本人の活躍と正義を探究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生徒各自の興味関心に基づき調べ学習を行う。 <p>2. カナダ日本人移民・日系人がつないだ未来、私たちがつなぐ未来について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歴史的経験を語り継ぐことが重要。 ●歴史的不正義と闘い、正義を勝ち取ることが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カナダの日本人移民や日系人に関する資料を収集し、史実と自己の考察を区別してまとめるよう促す。 ●時間設定に余裕がある場合は、『バンクーバーの朝日』(2015)のDVDを鑑賞させる。

6 学習後の姿

本単元を通し、カナダ日本人移民・日系人の生活や第二次世界大戦による強制収容や財産没収、戦後の補償のための闘いにおける苦労や苦悩の克服から、彼らの「活躍」と「正義」について探究する態度を育みたい。

7 授業づくりのための参考資料

- JICA 横浜 海外移住資料館(2015)『海外移住資料館だより』No.40
- 柳本文弥(文)、えんどうひとみ(絵)(2020)『工野儀兵衛ものがたり』NPO法人日ノ岬・アメリカ村